

TOYO TIRES

2018年12月期(2018年度)通期 決算説明資料

2019年2月15日

TOYO TIRE 株式会社

資料の内容

1. 2018年12月期（2018年度）通期業績 実績
2. 2019年12月期（2019年度）通期業績 予想

本資料に掲載されている業績予想や計画などの将来にわたる部分については、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことを十分にご認識の上、ご活用下さい。

(百万円)	2018年度 通期実績	2017年度 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	393,220	404,999	△11,779	△2.9%
営業利益 (利益率)	42,390 (10.8%)	45,308 (11.2%)	△2,918	△6.4%
経常利益	38,379	40,167	△1,787	△4.5%
当期純利益	10,553	15,476	△4,923	△31.8%

2018年度 通期予想 11/9時点	対予想 増減額
390,000	+3,220
42,000 (10.8%)	+390
38,700	△321
18,000	△7,447

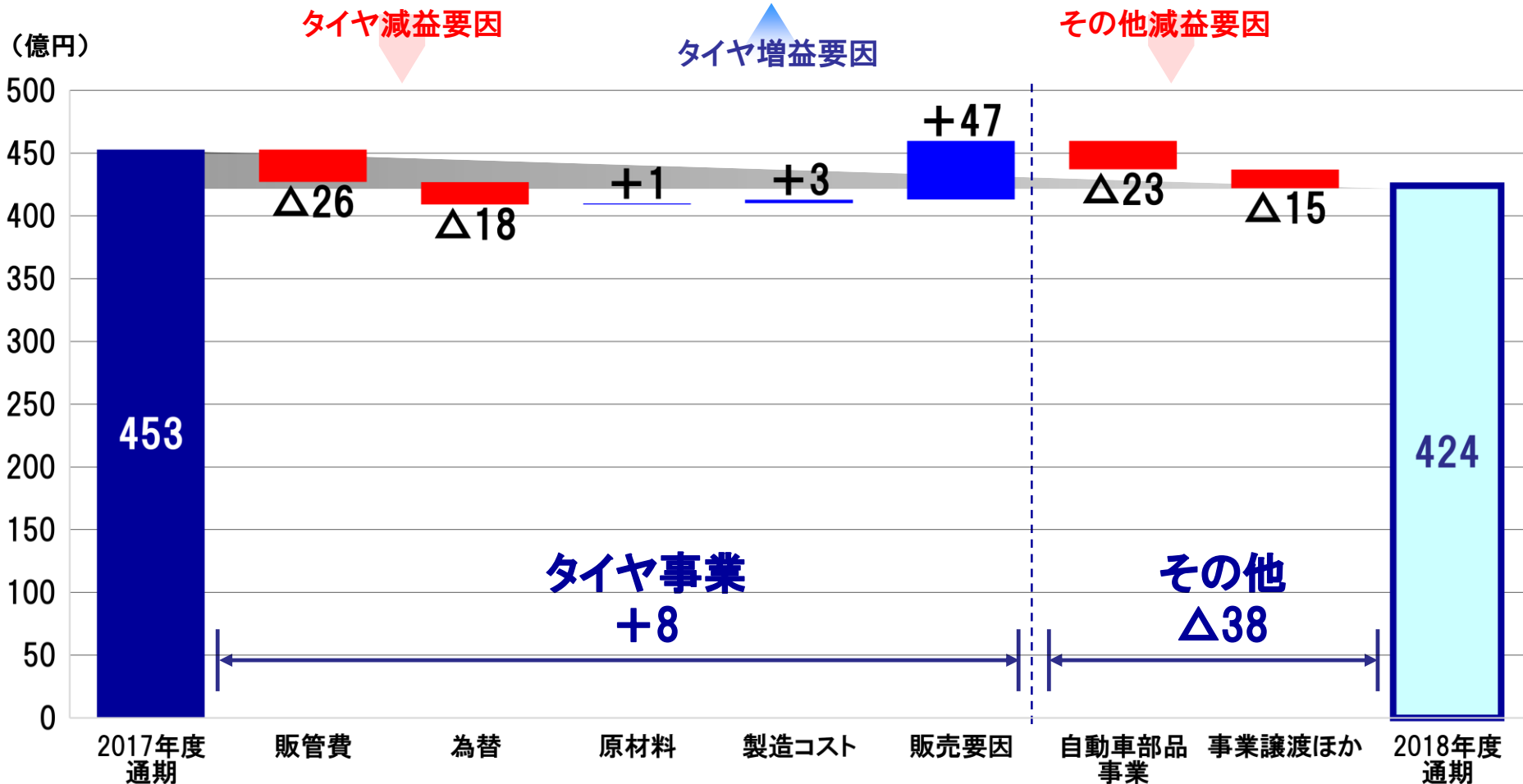
※当期純利益:親会社株主に帰属する当期純利益

為替 レート	USD	110円	112円	△2円
	EUR	131円	126円	+5円

2018年度通期 為替感応度	
USD	5.0億円/年
EUR	1.0億円/年

2018年12月期通期実績 営業利益増減要因

2017年度 通期実績	増減			2018年度 通期実績
453	△29			424
	△44	+52	△38	



2018年12月期通期に対する免震ゴム対策の影響

(ご参考)

(単位:百万円)	第1四半期 (A)	第2四半期 (B)	第3四半期 (C)	第4四半期 (D)	通期累計 (A+B+C+D)
55棟	—	7,729	—	1,064	8,794
99棟	—	△908	—	3,268	2,360
諸費用	724	2,568	955	609	4,858
補償費用等	634	94	528	258	1,516
合計	1,359	9,484	1,483	5,201	17,529

2015年度 通期累計	2016年度 通期累計	2017年度 通期累計
23,063	17,034	608
7,386	35,068	12,281
12,104	10,418	3,156
4,119	4,260	2,590
46,674	66,781	18,637

注)55棟:2015年3月13日公表分、99棟:2015年4月21日公表分

項目内訳

第1四半期(A)	55棟および99棟における交換用の免震製品代金や改修工事費は計上なし。 補償費用 約6億円、諸費用(主として免震ゴム対策本部人件費等)約7億円を計上
第2四半期(B)	交換用の免震製品代金や改修工事費用 約68億円、補償費用等 約0.9億円、諸費用約26億円 (主として、免震ゴム製品交換工事に係る保険料 約12億円、免震ゴム対策統括本部人件費等 約10億円、免震ゴムの交換用設備に係る費用等 約3億円)を計上
第3四半期(C)	55棟および99棟における交換用の免震製品代金や改修工事費は計上なし。 補償費用等 約5億円、諸費用(主として、免震ゴム対策統括本部人件費等)約10億円を計上
第4四半期(D)	交換用の免震製品代金や改修工事費用 約43億円、補償費用等 約3億円、 諸費用(主として、免震ゴム対策統括本部人件費等)約6億円を計上
2019年度以降	現時点で合理的に金額を見積もることが困難なもので、今後発生する費用がある場合には、 対処進行状況等によって追加計上する可能性あり
交換・改修の実績 (12月31日現在)	55棟(G039) : 49棟着工(うち製品交換の完了43棟) 99棟(G039以外) : 78棟着工(うち製品交換の完了62棟)

●売上高

(百万円)	2018年度 通期実績	2017年度 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率	2018年度 通期予想 11/9時点	対予想 増減額
タイヤ	341,694	327,097	+14,597	+4.5%	339,000	+2,694
自動車部品	51,466	53,150	△1,684	△3.2%	50,900	+566
化工品	—	24,710	△24,710	—	—	—
その他	133	203	△70	△34.5%	100	+33
調整額	△73	△161	+87	—	0	△73
合計	393,220	404,999	△11,779	△2.9%	390,000	+3,220

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

●営業利益

(百万円)	2018年度 通期実績	2017年度 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率	2018年度 通期予想 11/9時点	対予想 増減額
タイヤ (利益率)	46,879 (13.7%)	46,047 (14.1%)	+832	+1.8%	45,500 (13.4%)	+1,379
自動車部品 (利益率)	△4,537 (△8.8%)	△2,240 (△4.2%)	△2,297	—	△3,600 (△7.1%)	△937
化工品	—	1,389	△1,389	—	—	—
その他	80	151	△71	△47.0%	100	△20
調整額	△31	△38	+7	—	0	△31
合計	42,390	45,308	△2,918	△6.4%	42,000	+390

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

●売上高

(百万円)	2018年度 通期実績	2017年度 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
日 本	121,843	146,562	△24,718	△16.9%
北 米	198,133	186,312	+11,821	+6.3%
そ の 他	73,242	72,125	+1,116	+1.5%
消去または全社	—	—	—	—
合 計	393,220	404,999	△11,779	△2.9%

2018年度 通期予想 11/9時点	対予想 増減額
121,700	+143
195,500	+2,633
72,800	+442
—	—
390,000	+3,220

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含みません。

●営業利益

(百万円)	2018年度 通期実績	2017年度 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
日 本	29,284	31,920	△2,635	△8.3%
北 米	8,385	8,652	△266	△3.1%
そ の 他	4,013	4,888	△874	△17.9%
消去または全社	706	△152	+858	—
合 計	42,390	45,308	△2,918	△6.4%

2018年度 通期予想 11/9時点	対予想 増減額
29,900	△616
8,700	△315
4,100	△87
△700	+1,406
42,000	+390

(百万円)	2019年度 通期予想	2018年度 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	400,000	393,220	+6,779	+1.7%
営業利益 (利益率)	40,000 (10.0%)	42,390 (10.8%)	△2,390 (△0.8%)	△5.6%
経常利益	37,200	38,379	△1,179	△3.1%
当期純利益	23,900	10,553	+13,346	+126.5%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

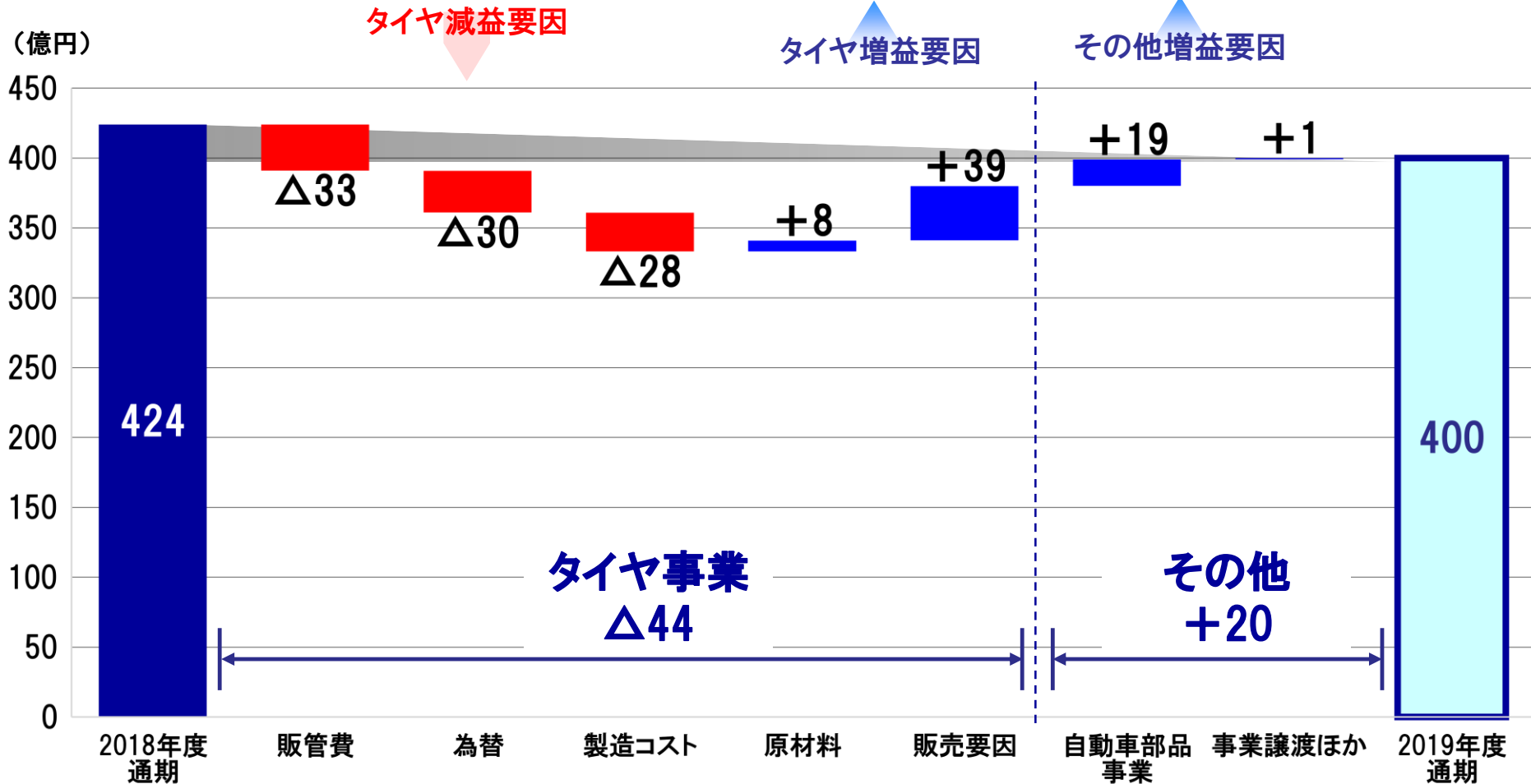
為替 レートの	USD	110円	110円	0円
	EUR	125円	131円	△6円

2019年度通期 為替感応度	
USD	5.0億円/年
EUR	1.0億円/年

営業利益ベースで1円の変動につき

2019年12月期通期予想 営業利益増減要因

2018年度 通期実績	増減			2019年度 通期予想
424	△24			400
	△91	+47	+20	



●売上高

(百万円)	2019年度 通期予想	2018年度 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
タイヤ	353,000	341,694	+11,305	+3.3%
自動車部品	46,900	45,537	+1,362	+3.0%
軟質ウレタン	—	5,928	△5,928	—
その他	100	133	△33	△24.8%
調整額	0	△73	+73	—
合計	400,000	393,220	+6,779	+1.7%

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

●営業利益

(百万円)	2019年度 通期予想	2018年度 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
タイヤ (利益率)	42,500 (12.0%)	46,879 (13.7%)	△4,379	△9.3%
自動車部品 (利益率)	△2,500 (△5.3%)	△4,371 (△9.6%)	+1,872	—
軟質ウレタン	—	△165	+165	—
その他	0	80	△80	—
調整額	0	△31	+31	—
合計	40,000	42,390	△2,390	△5.6%

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

●売上高

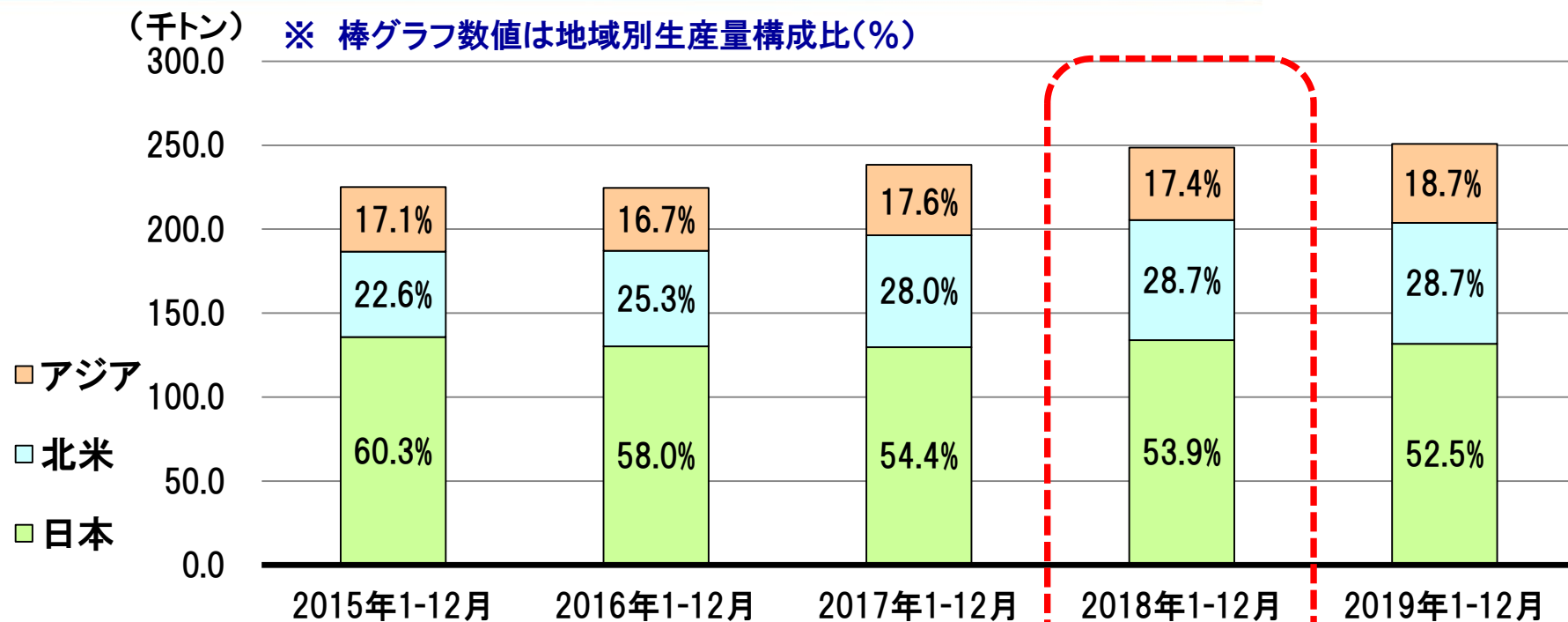
(百万円)	2019年度 通期予想	2018年度 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
日 本	118,900	121,843	△2,943	△2.4%
北 米	208,200	198,133	+10,066	+5.1%
そ の 他	72,900	73,242	△342	△0.5%
消去または全社	—	—	—	—
合 計	400,000	393,220	+6,779	+1.7%

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

●営業利益

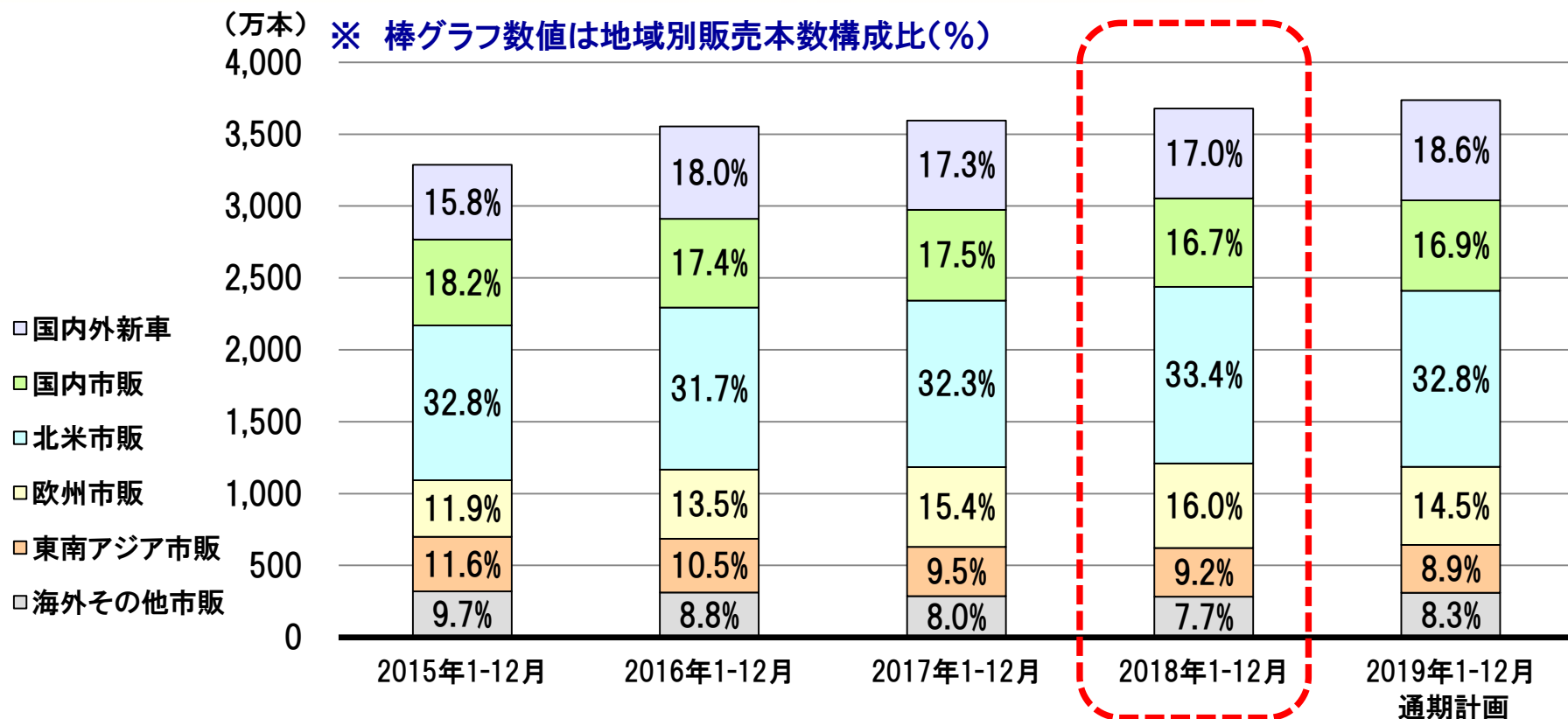
(百万円)	2019年度 通期予想	2018年度 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
日 本	25,100	29,284	△4,184	△14.3%
北 米	10,700	8,385	+2,315	+27.6%
そ の 他	4,500	4,013	+486	+12.1%
消去または全社	△300	706	△1,006	—
合 計	40,000	42,390	△2,390	△5.6%

(ご参考) タイヤ生産量(新ゴム量)の推移



(単位:千トン)	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	1-12月	1-12月	1-12月	1-12月	通期計画 1-12月
日 本	135.7	130.2	129.7*	134.0	131.8
北 米	50.9	56.9	66.8	71.4	72.0
ア ジ ア	38.6	37.4	41.9	43.2	47.0
合 計	225.2	224.5	238.4*	248.6	250.8

(ご参考) タイヤ販売本数 地域別構成比



販売本数構成比(%)	2015年 1-12月	2016年 1-12月	2017年 1-12月	2018年 1-12月	2019年 通期計画 1-12月
市販合計	84.2%	82.0%	82.7%	83.0%	81.4%
うち海外市販	66.0%	64.6%	65.2%	66.3%	64.5%
うち国内市販	18.2%	17.4%	17.5%	16.7%	16.9%
新車合計	15.8%	18.0%	17.3%	17.0%	18.6%

前年同期間を100とした場合の対前年比率

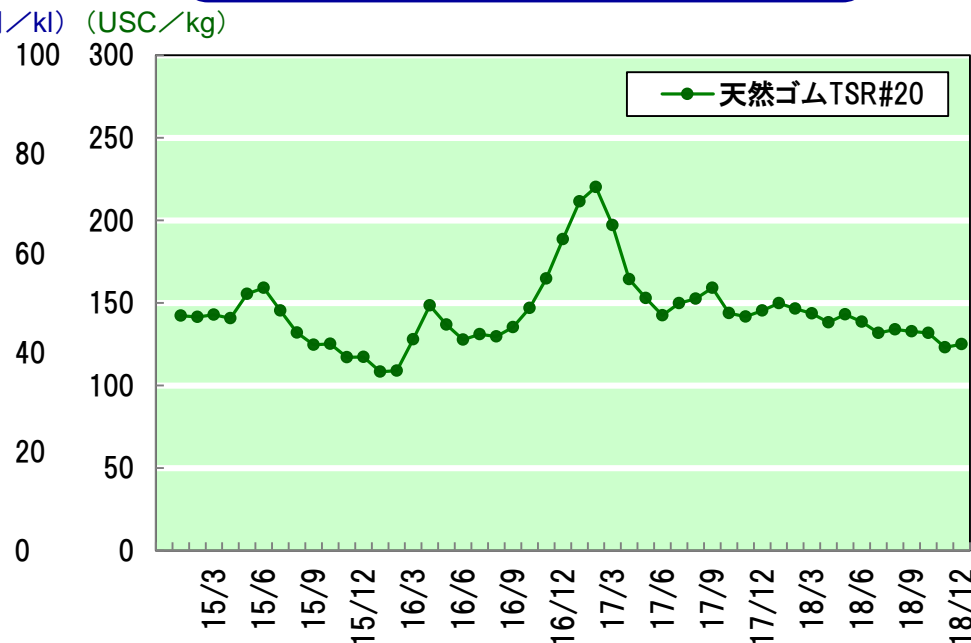
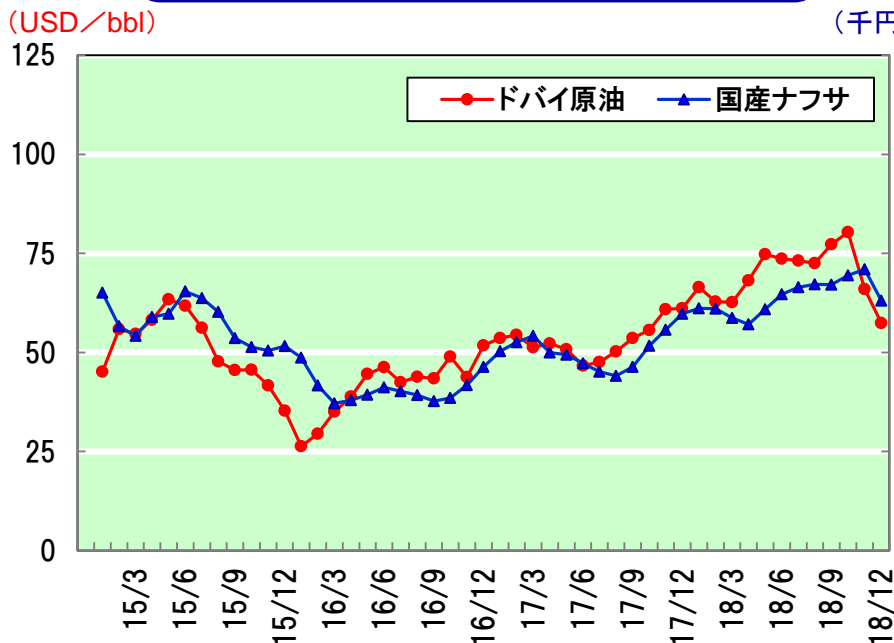
(単位:%)	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年 通期計画
	1-12月	1-12月	1-12月	1-12月	1-12月
国内外新車	115	123	97	100	111
国内市販	95	103	102	98	102
海外市販	97	106	102	104	99
うち北米	102	105	103	106	100
うち欧州	98	123	115	106	92
うち東南アジア	101	98	92	99	98
合計	99	108	101	102	102

(ご参考) 主要原材料動向

◆価格動向

ドバイ原油、国産ナフサ価格推移

天然ゴムTSR#20価格推移(SICOM)



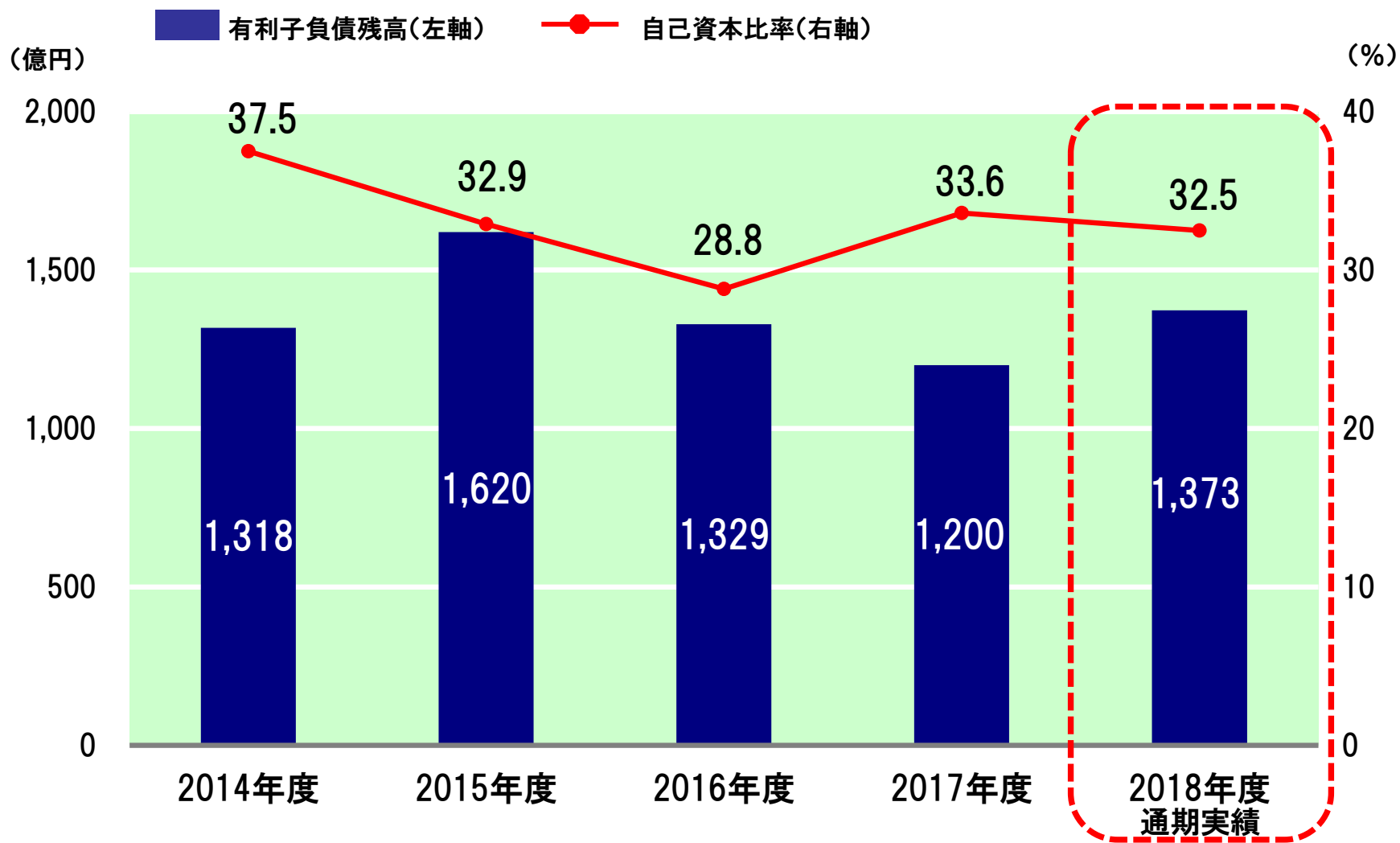
◆価格変動影響額 (営業利益ベース、単位:億円)

原 材 料 別	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度 予想
天 然 ゴ ム	+75	+25	△75	+38	+3
石 化 品	+99	+64	△77	△29	+9
そ の 他 原 材 料	+4	+11	+13	△8	△3
合 計	+178	+100	△139	+1	+8

(注)2017年度までは全事業、2018年度以降はタイヤ事業における影響額を掲載しています。

2017年度までは「棚卸資産評価差額」を「その他原材料」として、2018年度以降は各原材料に含めて掲載しています。

(ご参考) 有利子負債残高と自己資本比率の推移



◆設備投資額

2019年度 計画

設備投資額:534億円

(タイヤ:493億円 自動車部品他:40億円)

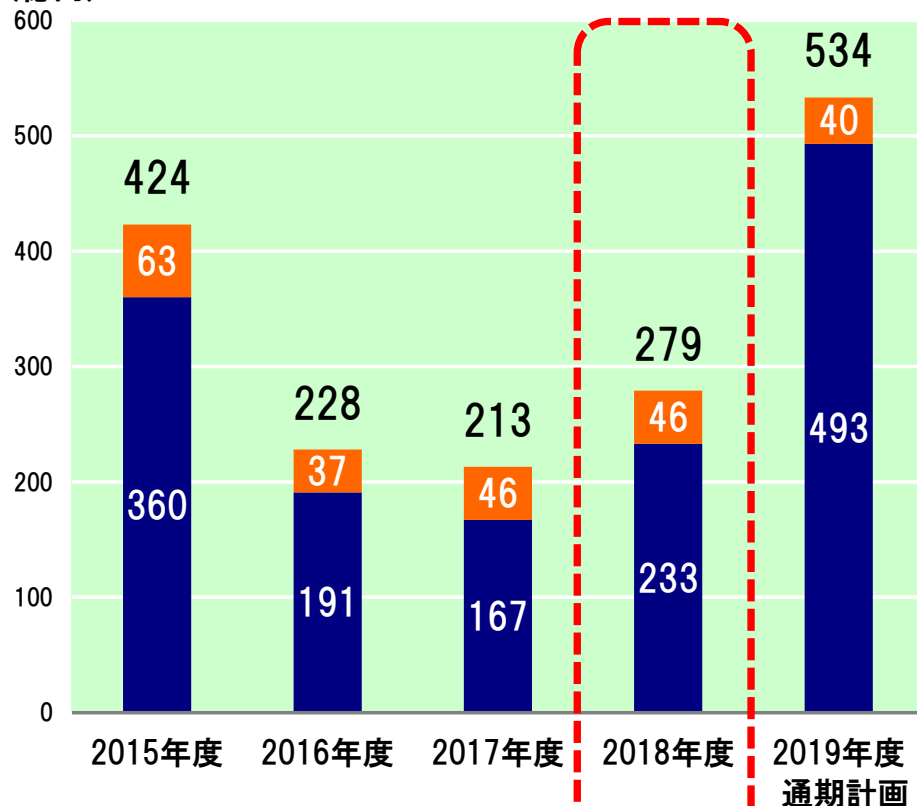
◆減価償却費

2019年度 計画

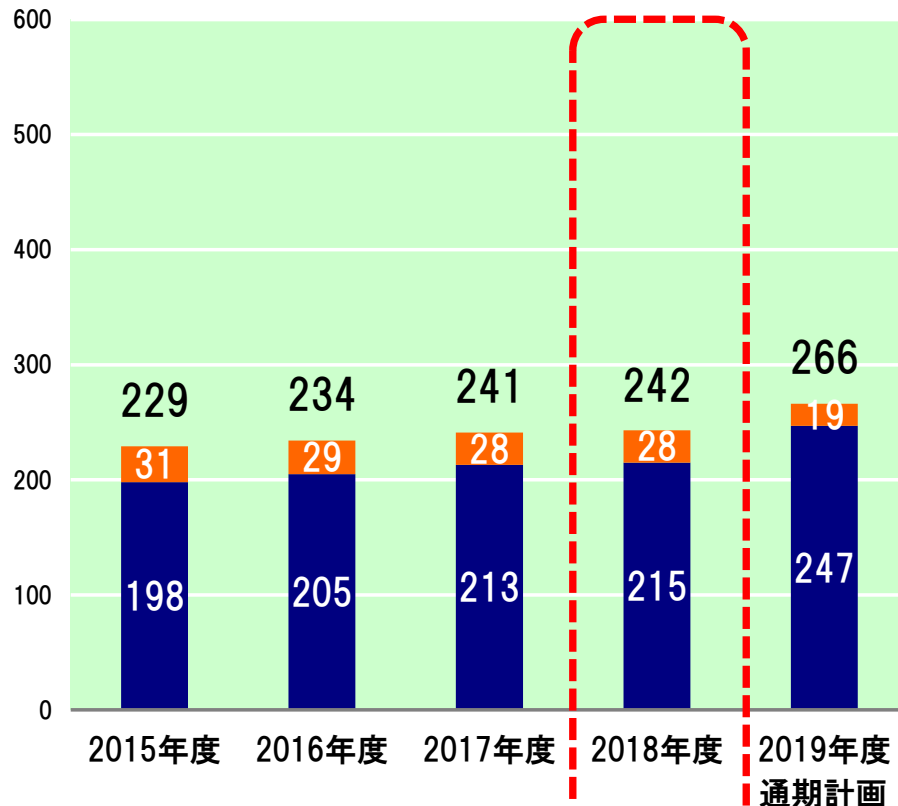
減価償却費:266億円

(タイヤ:247億円 自動車部品他:19億円)

(億円)



(億円)



再発防止策の進捗状況につきましては、 四半期ごとに当社ホームページでの公表を継続して参ります。

IR情報 一覧 >

- 2018.12.27 **即時表示** ▶ 教員ウレタン事業の譲渡に伴う連結子会社における会社分割および子会社株式の譲渡等完了に関するお知らせ (1111KB)
- 2018.11.09 **決算** ▶ 2018年12月期 第3四半期報告書 (549KB)
- 2018.11.09 **決算** ▶ 平成30年12月期 第3四半期決算短信 (日本基準) (連結) (962KB)

メールニュース配信登録

① 重要なお知らせ > **免震ゴム/防振ゴム問題への対応について >**

HOME > 免震ゴム/防振ゴム問題への対応について

免震ゴム/防振ゴム問題への対応について

このたびの免震ゴム問題、および防振ゴム問題により、多くの関係者の皆様にご迷惑をおかけしていますことを心より深くお詫び申し上げます。

一日も早くご負担の解消、問題の解決を実現できるよう真摯に尽力してまいります。

これから、一人ひとりが固い意志を持って「再発防止の徹底と継続」に取り組み、そして、「世の中に求められる企業」に生まれ変わるよう、グループをあげて再生を果たしてまいります。

新着情報

2018.11.09 **ページ更新** ▶ 免震ゴム問題の「交換・改修に向けた進捗について」を更新しました

- 免震ゴム/防振ゴム問題への対応について
- ▶ 信頼回復に向けて
- ▶ 免震ゴム問題への対応について
- ▶ 防振ゴム問題への対応について
- ▶ 関連プレスリリース
- ▶ 進捗報告**

TOYO TIRES 企業サイト 製品情報 企業情報 IR情報

企業サイトTOP > **免震ゴム/防振ゴム問題への対応について** > 進捗報告

進捗報告

○ 再発防止策の進捗について (2018年11月9日公表分)

－ 品質保証改善並びにコンプライアンス啓発強化

- 全事業にわたる全社的監査の継続 >
- CI明石工場のコミュニケーション活動 >
- 品質保証・管理体制の構築 >
- 生産拠点における作業・監督体制/教育の継続 >
- コンプライアンス強化徹底 >

継続的改善、充実

- 不正行為の早期探知、危機管理の実践 >
- 社員教育の徹底と企業風土の抜本的改革 >

免震ゴム/防振ゴム問題への対応について
→ 進捗報告

(<https://www.toyotires.co.jp/responsibility/progress/>)

TOYO TIRES